

## 第 22 回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第 22 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成 29 年 3 月 21 日（火）午前 10 時～11 時 30 分
場 所	杉並第四小学校 図書室
出 席 者	懇談会委員 22 名（欠席 6 名）
傍 聴 者	2 名
次 第	1 小学生の放課後等居場所事業について 2 新校の学園章・学園歌について 3 3 校の交流活動について 4 その他
資 料	資料 1 小学生の放課後等居場所事業の本格実施について 資料 2 学園章・学園歌の制作について 資料 3 「子どもみらい高円寺 No. 10」

会長	<p>それでは、第 22 回新しい学校づくり懇談会を開会させていただきます。</p> <p>本日、5 名の欠席連絡をいただいております。まだお見えでない方もおりますが、定刻となりましたので始めさせていただきます。本日は傍聴の方もおります。よろしく願いいたします。</p> <p>では、最初に配付資料の確認をいたします。</p> <p>（配付資料の確認）</p> <p>それでは、次第の 1 番目「小学生の放課後等居場所事業について」を、事務局からご説明ください。</p>
児童青少年課長	<p>児童青少年課長の藤山と申します。本日は、子どもの居場所づくり担当の塩畑とともに参りました。よろしく願いいたします。</p> <p>さて、児童館再編に絡み「放課後等居場所事業」というものを実施する旨、先日の住民説明会等でお話しましたが、区の内部で基本的な方針が決定いたしましたので、報告させていただきます。</p> <p>お手元の資料 1 「小学生の放課後等居場所事業の本格実施について」をご覧ください。こちらは一言で申し上げますと、学童クラブ以外の小学生が、一般来館と言って放課後や夏・冬・春休みに児童館を利用することを、児童館に代わって小学校の中で実施していくという取組みです。</p> <p>児童館再編の中で、児童館の建物自体はなくなったとしても児童館の主要な機能を、小学校や「子ども・子育てプラザ」等に移し、これまで培ってきた役割をしっかりと残すというものです。</p>

資料に戻りまして、冒頭に記載のある実行計画に基づき、平成 27 年度は 4 校でモデル実施し、今年度は 2 校追加して 6 校で実施いたしました。その結果を踏まえて、以下のとおり基本的な考えが決定しました。

1 の (1) をご覧ください。児童館の機能を移転するという考え方にに基づき、児童館で行ってきた安全・安心に過ごすための居場所の提供、遊び、交流、学習支援等を児童館に代わって小学校の中で行うというものです。

実施にあたっては、学童クラブが小学校内または近接地に設置された小学校を対象に、段階的に進めていきます。現在、10 校ほどの学童クラブが小学校の中に設置されております。そうした学童クラブは、効率的かつ効果的に事業を実施するために、一括して民間委託しています。今後、学童クラブと放課後等居場所事業に参加した児童が、交流できる環境づくりを目指していきたいと考えています。

(1) の項目 4 つ目の「放課後子ども教室」等の既存の放課後の活動と連携・協働して、より充実した事業内容について説明します。

この「放課後子ども教室」は、学校支援本部の方、PTAの方、地域の方が主体となり、時には実行委員会をつくって、子どもが様々な活動をできるよう取り組んでいただいているものです。放課後等居場所事業を実施したとしても、この取組みを排除することはありません。児童館が持っている安全・安心に過ごせる場に代わるものを小学校内に作り、その中で今後も取組みを続けていきたい、区と連携して重層的に子どもの居場所をより良いものにしていきたいと考えております。

項目 5 つ目です。委託事業者や既存の放課後の活動実施者との協議、学校や学校施設利用者団体等との調整についてですが、これらを含む放課後等居場所事業全体の管理、統括を「子ども・子育てプラザ」が担います。

「子ども・子育てプラザ」は乳幼児親子の支援をベースとしながらも、地域全体の子育て支援をする中心的な施設として、児童館再編の取組みの中で新たに設置するものです。現在、区内を 7 地域に分けていますが、1 地域に 2 カ所、計 14 ヶ所の「子ども・子育てプラザ」を設置していく考えです。

「子ども・子育てプラザ」をどのように設置していくかといいますと、現在、天沼に建設しているような複合施設の中に新設する方法と、もう 1 つは、児童館を転用して設置する方法があります。昨年 12 月に第 1 号である「子ども・子育てプラザ和泉」が誕生しましたが、この施設は和泉児童館を転用して設置しました。

杉並和泉学園で放課後等居場所事業を実施するに当たっては、学童クラブも学校内に移転し、そのうえで乳幼児の居場所として「子ども・子育てプラザ」を児童館から転用する形で設置することで、児童館の機能を確保しました。

最後の項目でございます。本格実施後の各年度の状況を踏まえて、必要な見直しを図っていきます。

実施内容は (2) の表でまとめておりますのでご確認ください。

	<p>対象児童は、実施校のほか、国立・私立学校等の児童です。登録の上、利用していただきます。</p> <p>実施日時は、表のとおり児童館の開館日をほぼ準用しています。</p> <p>実施場所も、表のとおり当該校の教育活動に支障のない範囲で活用します。</p> <p>参加した児童の出欠確認を行うなどの拠点の部屋が必要になるため、新築校には多目的室を学童クラブとは別に設置する設計となっています。</p> <p>学童クラブ以外の児童が参加する場合、まず多目的室に行き、出席受付をして、その日に使える体育館や校庭等に行って遊ぶ。または、スペースとしては余裕を持たせた設計となっている多目的室を、読書やゲーム等をして静かに過ごす場所として活用する予定となっています。</p> <p>表の下の注釈にもありますが、当該校の事情や状況を考慮し、学校と打ち合わせの上、弾力的に対応していきます。</p> <p>(3) 当面の実施校です。こちらは計画化されている事業とお考えください。</p> <p>平成 29 年 4 月から杉並和泉学園で実施いたします。平成 30 年度以降については表のとおりです。</p> <p>2 は、「遊びと憩いの場開放事業の取扱い」についてです。現在、学校開放事業の取扱いで週 3 日以内で校庭開放を実施しております。放課後等居場所事業が実施されれば月曜から土曜まで小学生の活動場所の充実化を図ることができるため、土日のサッカーや野球以外の学校開放事業は実施しない考えです。</p> <p>最後に 3 の「児童館直接来館制度の実施」についてです。放課後等居場所事業は段階的に進めることから、放課後に直接事業に参加できる放課後等居場所事業との均衡を保つため、放課後等居場所事業が始まらない地域の児童もランドセルを持って直接、児童館に遊びに行ける仕組みを同時に開始します。これを直接来館制度といいます。</p> <p>29 年 4 月からの実施に向けて既に各児童館から周知しており、登録もできるようになっています。また、児童館だより等で、小学校からも周知をしていますので、ご希望の方はぜひ活用いただきたいと思います。</p> <p>放課後等居場所事業についての説明は以上になります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは何かご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>杉並和泉学園の学童クラブが大体 150 人程の規模ということですが、放課後子ども教室の受け入れ人数は大体どのくらいですか。</p>
児童青少年課長	<p>学童クラブで使用する部屋は 1 人当たりの面積が法令で定まっていますので、面積に基づいて定員も決めています。放課後等居場所事業では、児童館同様、定員という考え方はありません。現在の児童館の一般来館でも来館者数には波がありますが、登録者の 2 割が来るという想定で、平均して 100 人以下には収まると考えています。高円寺小中一貫教育校では、P T A 室を跨いだ反対側に、90 平米程の多目的室があり、そこを専用的に使わせていただき、出席確認等をするような拠点の部屋にしたいと思っています。</p>

委員	現在の学校開放事業は教育委員会ですが、この放課後等居場所事業の管理責任、例えば発生した事故等は保健福祉部児童青少年課の管轄になるということでしょうか。
児童青少年課長	例えば放課後の校庭で居場所事業と学校の取組みが混在していた場合などに、同じ校庭で起こった事故であっても、学校の取組みで起こった事故は教育委員会の管轄、放課後等居場所事業で起こった事故は、児童青少年課の管轄になります。事業内容によって切り分けることになります。
委員	わかりました。併用している校庭などの場合、線引きができるか等の説明をしっかりとっていただきたいと思います。 また、新校には中学校の部活動もありますが、問題は生じないでしょうか。
児童青少年課長	そこは学校との調整となります。杉並和泉学園もそうですが、部活をやっていない日、使っていない場所、カリキュラムや放課後の活動等を整理し、そこにこういった事業の場所の確保に向け調整させていただこうと思っております。
委員	高円寺の新校は通学区域の一番端にあるため、学童クラブと放課後等居場所事業を利用した児童が、最も遅い時間だと夕方6時に環七を渡って帰宅することになります。距離的な安全性についてどのように考えますか。 また現在、高円寺南側には東児童館と中央児童館があり、若い親たちに対しキッズ教育を行っています。その機能を高円寺の新校の中に置くと高円寺南二・三丁目等にいる若い親たちは、距離的に不便に感じると思われます。地域が納得できる説明が必要だと思えます。その点についてどう思われますか。
児童青少年課長	他の学校区でも幹線道路を渡らなくてはいけない立地に設置されている学童クラブはあります。すべての学童クラブで児童に対し交通指導を実施したり、遅くなった場合は、保護者の方に迎えに来ていただくなどして、安全の確保に努めています。これは学童クラブに限らず児童館についてもです。すべてのご家庭のご希望どおりにはならないかもしれませんが、区全体のバランスの中で、安全についてご理解いただきたいと考えております。
委員	遠すぎるというのが、正直な実感です。新高円寺駅付近に住んでいる児童だと、高円寺中まで行くのに20分以上かかると思われます。日が落ちるのが早い時期で親が迎えに来られない日には、業者に預けられるなどの保護者が安心できる材料を具体的に示していただきたい。 中央児童館の位置でしたら、文句なしですが、これだけ離れてしまうと親としては心配なのです。例えば、現在、杉八小の児童は、放課後に中央児童館へ行く際には児童館職員や小学校教諭等の見守りがあります。区は親の安心感を生み出すような、丁寧で説得力のある提案の準備をしていただければと思います。
委員	今の意見に追加して要望ですが、駅の南側に児童が集まり安心して遊べる場所がなくなることは非常に不安です。 また、ベビーカーを押して集まれる場所があることで、幼稚園や保育園の親同士のつながりが生まれていき、うまく交流が図られていくのだと思います。子育て世代の親同士が交流できる場所が駅の南側でなくなってしまうことについて

	<p>も、自分の子育て経験から考えて非常に不安に思います。</p> <p>保護者としては出来るだけ家から近い場所に子どもを預ける方が安心なので、駅の南側にも児童や子育て世代の親が集える場所をしっかりと確保していただきたいです。</p>
児童青少年課長	<p>検討させていただきます。</p>
会長	<p>他にご意見はございますか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>それでは次第の2つ目、「新校の学園章・学園歌について」に移ります。</p> <p>これまでの懇談会で小中一貫教育校として、象徴となる校章と校歌を作成することが決定しております。</p> <p>本日は、学園章・学園歌の制作方法についてご意見をいただきたいです。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>では、事務局から学園章と学園歌について、ご説明させていただきます。</p> <p>前回、新校名の候補が「高円寺学園」となりましたので、今後、仮称ではございますけれども、「高円寺学園」と呼んでいきたいと思っております。これまで「校章・校歌について」という議題でしたが、今回からは、「学園章・学園歌の制作について」という議題になります。これまでの議題と整合がとれていませんがご了承ください。</p> <p>本日は、大きく2つのテーマで意見交換をしていただきます。</p> <p>まず1つは制作方法、もう1つはそれぞれを制作する専門家の推薦についてになります。</p> <p>配付資料2「学園章・学園歌の制作について」に沿ってご説明いたします。</p> <p>また、あわせて第20回懇談会で配付した資料にも、過去の統合3校で、どのように校章等を決めたかの資料がありますので、そちらも参考にして、意見交換をしていただきたいと思っております。</p> <p>まず、学園章についてご説明してまいります。資料の1「学園章について」をご覧ください。</p> <p>決める過程で複数のデザインから絞り込み作業をすることになりますので、小規模の集まりの方が意見交換がしやすく集約しやすいのではないかと思います。つきましては、永福小や杉並和泉学園と同様に検討部会の設置を提案させていただきます。</p> <p>部会の構成員としては、記載のとおり、校長と副校長を3校から1名ずつ、あと保護者を3校から1名ずつで3名になります。あとは学校関係者を2から4名、学校支援本部の代表の方1名ずつ2名というところで、大体10名程度でいかがかなと考えております。</p> <p>裏面に制作方法案を記載してございますのでご覧ください。</p> <p>今回、この学園章は、校名と同様にアンケートを実施するかどうかが争点になってくると思っております。永福小は図案を募集し、杉並和泉学園については学園歌にもつながる新校のイメージを募集した経緯がございます。</p>

	<p>永福小はコミュニケーションマークだったので、児童に図案を描かせるという形をとったのですが、杉並和泉学園は学園章ということもあり、児童に図案を描かせるのは難しいというご意見から、新校のイメージを募集しました。</p> <p>まず伺ってまいりたいのが、地域等から意見募集を行うか否か。行わない場合は、懇談会委員から制作してほしいイメージの意見を出していただき、集約して、専門家に制作依頼をします。</p> <p>地域等から意見募集を行うのであれば、永福小のように図案を募集するのか、杉並和泉学園のように新校のイメージを募集するのか、どちらかになります。</p> <p>意見募集をする場合、募集対象は校名と同様に大規模なアンケートとするのか、それとも、児童・生徒のみとするか、本日、その方向性についても意見をいただきたいと思います。</p> <p>スケジュールについて、表2に案がございます。次回、5月頃に次回の懇談会を考えていますが、検討部会を設置することになれば、校長先生等と相談をしまして、検討部会の委員の候補を懇談会で出したいと考えております。</p> <p>また、アンケートをとることになれば、どのような形でとるのかもあわせて、ご提案いただきたいです。</p> <p>次に制作者です。本日、専門家の候補者を推薦いただき、次回、その中で制作依頼をする順番等を決めるなど、スピード感を持って進めていき、29年度中に制作を終えたいと考えております。制作期間も、制作者によって差が出てくると思いますので、早目早目に動きたいと考えております。</p> <p>次に2の「学園歌について」をご説明いたします。</p> <p>学園章と同様、意見募集の必要性について、ご意見を伺いたいと思います。過去の事例ですと、永福小では意見募集は行いませんでした。また杉並和泉学園では、新校のイメージをアンケートでとり、制作者に学園章とリンクするような形で、検討し制作してほしいと、依頼しました。</p> <p>(3) 今後のスケジュールです。学園歌は、特に制作期間を十分に取る必要があると考えています。そのため、アンケートをとることになれば、次回の懇談会直後に実施できるよう準備したいと思います。本日と次回で、制作方法と制作者の候補を固めていただきたいので、ご意見をよろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ではまず学園章から考えていきたいと思います。</p> <p>ある程度イメージ等の候補を検討部会で絞り込んだ後に懇談会で議論するというこれまでの実績を踏まえた提案が事務局からありましたが、いかがでしょうか。検討部会を設置するという方向でよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」という声あり)</p> <p>では、学園章は、検討部会を設置して議論する方向で進めてまいります。</p> <p>検討部会の委員は事務局と相談の上、次回の懇談会までに候補を提案したいと思います。</p> <p>次に、意見の募集方法についてです。校名のときは地域からアンケートをとったのですが、今回の意見の募集方法についてご意見はございますか。</p>

<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>杉並和泉学園の際のアンケートを募集した結果についてですが、すごく目新しいものがあるというわけではなく、応募数の多かったものを紹介すると和泉小に校庭芝生があったことから、「芝生」というイメージ。隣に神田川があったことから、「神田川」。ほかには「仲よく」、「明るい」、湧き出る「泉」、桜並木があったので「桜」、「元気」、「笑顔」、「楽しい」、「緑」、「自然」、「優しい」、「輝く」、「絆」、「ありがとう」、「富士山」、「熊野神社」、「希望」、「未来」、「虹」といったイメージが子ども達から出されたというところがございます。</p> <p>このアンケート結果は、学園章・学園歌の制作者にお願いする際に、お渡ししています。アンケート結果に加え、懇談会でもご意見をいただいています。このフレーズを入れてほしいとか学校名が校歌に入るのは古臭いから入れてほしくない等の意見もありましたが、最終的には湧き出るイメージもある「泉」というフレーズだけは入れてほしいと制作者に依頼することになりました。</p> <p>アンケートをとることは、新校に向けて大変意義のあることだとは思いますが、杉並和泉学園の例を見ますと懇談会委員の皆さまも思い浮かぶ内容かと思えます。スケジュールに余裕がないことから意外性のある回答を期待したアンケートということであれば、アンケートに固執する必要もないかとも思われます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。杉並和泉学園の事例の紹介がありました。もし、高円寺学園について児童・生徒にアンケートしない場合、我々で提示するイメージを考えることになります。</p>
<p>委員</p>	<p>杉並和泉学園の事例を聞いて納得するところがありました。</p> <p>アンケートで意見を募集することは非常に大変な作業になるとは思いますが、やはり意見募集はした方がよいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>杉並和泉学園は、湧き出る泉ということで、学園章の周りの部分がそれを表しているのだと思います。校章は様々な思いが詰まったものであると聞きます。例えば高南中の校章だと、杉三、杉八小、杉十の校章が合わさったものであったり、杉十の校章はホタルが4匹集まって「十」を形成している等の意味があるようです。杉並和泉学園の学園章のほかの部分、何を表現しているのでしょうか。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>20回の懇談会資料の冒頭に杉並和泉学園の学園章が載っているかと思うので、ご覧ください。学園章の周りは湧き出る泉を表しており、王冠のようなものは泉に水滴が落ちてできたミルククラウンを表しています。クラウンの数ですが、懇談会で小中一貫教育校で9年間なので9本にしようという意見が出て制作者に修正してもらいました。</p> <p>真ん中の人のような形の部分は、3つのくっついた矢印と、人の手と体を表しています。意味としては3校がくっついて、1校になり上に伸びていくという意味と、3校が一緒になり新校ができ、人が形成され、子どもが万歳をしている絵になる等、思いが複雑に盛り込まれている学園章になっています。</p> <p>これ以外にも10個程の案を制作者から提案されました。</p>
<p>委員</p>	<p>子どもたちにとっても、新しい学校に対する思いはあると思うので、アンケート等で意見を聞いてあげた方がいいと思います。そして、専門家を交えた検討部</p>

	会の中で検討を重ね、学園章の成り立ちや意味を発表できるような形をとったほうが良いと思います。
委員	<p>地域の学校なので、地域の意見を取り入れた方が良いと思います。ただ高円寺の場合は、必ず「阿波踊り」が出てくるように思います。「阿波踊り」の歴史は60年ぐらいですが、より歴史の長い杉四小・杉八小・高円寺中の統合校の学園章に「阿波踊り」入れるのはどうかと思います。</p> <p>現在の杉四小・杉八小・高円寺中の校章がどのような思い、経過でできたものかを検証した上で、意見集約することは必要かと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。今までの校章の由来も検証した方がよいのではないかとこの意見がございました。他にはございますか。</p> <p>それでは、委員の意見を集約しますと、アンケートを行うという方向性でよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」という声あり)</p> <p>それでは、フローチャート「ウ」のところでアンケート対象が4つに分かれておりますが、アンケートをどこにとるかご意見はありませんか。</p> <p>また、イメージで行くか、それとも図案で行くかという点でも意見をいただきたいと思います。</p>
委員	アンケートをとる対象エリアは、校名アンケートと同様でよろしいのではないのでしょうか。
会長	イメージか図案かという点は、いかがですか。
委員	たくさん図案が出てきた場合、集約しづらいと思います。
会長	確かにイメージの方が後で応用しやすい感じがします。
委員	出たイメージを取り入れて、制作者に何パターンか制作を依頼するというのが一番いいのではないかと思います。
委員	学園章の他にコミュニケーションマークがありますが、今回、コミュニケーションマークはどうするのでしょうか。
会長	事務局の方はいかがでしょうか。
教育施設計画 推進担当係長	今は学園章のみをご検討いただきます。コミュニケーションマークが必要ということであれば、学園章が決まったあとの検討課題となります。
委員	コミュニケーションマークを決めるなら図案の募集でいいと思いますが、学園章という格式高いものを専門家に依頼するなら、図案の募集は難しいと思います。アンケートではイメージの募集で留めた方がよいと思います。
委員	イメージを募集すれば、学園歌の歌詞にも使えるし、学園章のデザインにも使えると思います。新しい学校のイメージとか、学園章や学園歌に入れたい言葉を募集して、それを検討部会で集約して専門家に依頼するといいいと思います。
会長	ありがとうございます。イメージであれば学園章だけではなく、学園歌にも反映できると思います。今のところイメージをアンケートで募集するという意見がありますが、そのような方向性でよろしいでしょうか。

委員	<p>杉並和泉学園の学園章を募集した際は、新校のイメージを図案で描いても良いという形で募集したそうですが、中学生くらいであれば描いてみたいという生徒もいると思うので、今回も基本的にはイメージを募集するが、図案を出すこともできるようにすると思います。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>今のご意見ですが、杉並和泉学園のときもそのような形でやらせていただいて、難しかったのは制作者にどのように意見を提示するかというところでした。制作者には出てきた図案や歌詞は参考程度にお渡しすることもいたしましたので、図案を含めて募集することも1つの案かとは思いますが。</p> <p>しかし、児童・生徒であれば図案を含めた募集も可能だと思うのですが、通学区域全体を対象とすると、しっかりとした図案を描ける大人からの提案が出てきてしまうことが予想され、そうなる専門家に依頼する必要性がなくなってしまうということになります。そのことも踏まえて募集対象の範囲をどうするかも一緒に考えていただきたいと思います。</p>
会長	<p>募集対象を誰にするかにより、アンケートのとり方が変わってくるのは当然のことだと思います。そこも含めてご意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>確かに年代によって考えている高円寺のイメージにギャップがあると思います。</p>
会長	<p>そうですね。高円寺カルタ等で街を歩いていると、よくそのような話をいただきます。</p> <p>では、募集対象について校名を募集したときと同じ対象にするか、児童・生徒にするかという2つの意見がでました。</p> <p>児童・生徒であれば図案を含めてイメージを募集するのもよいかという意見もあります。時間をとりますので、周りの方と意見交換をしてください。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>第20回懇談会資料の参考資料2が全区的に天沼小の校章を募集したときのニュースです。また、参考資料5が、子どもたちに対しどのように杉並和泉学園の学園章を募集したかの資料になります。先ほど委員のお話しにあった図案を描いても良いとする様式は、参考資料5の裏面にありますのでご参考にご覧ください。</p>
(意見交換)	
会長	<p>それでは、イメージのみで募集するか、図案も含めるか、また、それを募集対象を誰にするかという点でご意見を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>とにかく子どもたちに聞いてみることは、もう決まりだと思います。子どもたちが、新しい学校を自分たちが築いていくのだという意識を持つ意味でも必要なことだと思うからです。</p> <p>イメージというか映像に近いものかと思うのですが、高円寺というお寺や阿波踊り等のイメージは使えないと思いますので、むしろイメージというよりは児童・生徒が思い描く未来や思いを聞いて、それをプロの専門家に提示して作り上げていただくのが、良いのではないかと思います。</p>

	<p>新しい学校を通して子ども達が求めているもの、親たちが子どもの将来として期待するもの等を描ければ新しいところへ向かうものと思います。</p>
会長	<p>ほかにご意見はございますか。</p> <p>特にご意見がなければ募集対象は児童・生徒ということにしたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>「(事務局了承)」</p> <p>ではそれを踏まえて、アンケートの中身についてはいかがでしょうか。</p> <p>「未来への思い」、「イメージ」の2つの意見が出ております。児童・生徒ならば図案もというご意見もありました。アンケートの中身についてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>確認しておきたいのですが、高円寺中学校の校章の「高」の字は旧字体です。昔から高円寺中学校の正式名称では旧字体が使われてきました。新校名の「高」の字は新字体でいいのか確認が必要だと思います。</p>
学校整備担当 部長	<p>校名も最終的には条例で決めなくてはいけないので、条例化するとき使える文字、使えない文字があるので、そこも踏まえて決めないといけないと思います。</p>
会長	<p>持ち帰って確認させていただきます。アンケートの中身については、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>学園章のデザインに込めたい思いを表現している言葉や歌詞に入れてほしい言葉は何ですかという聞き方のほうが意見が出やすいと思います。</p>
会長	<p>今の意見の聞き方だと全てを網羅しているかなと思います。イメージも、図案も、将来への思いも答えられる聞き方かと思います。</p> <p>特にご意見がなければ、本日のご意見を踏まえて、事務局でアンケートの案文を作成し、次回提案することによりよろしいでしょうか。</p> <p>（「はい」という声あり）</p> <p>それでは、児童・生徒向けのアンケートを、次回ご提案いただいて、懇談会後に実施いたします。結果を踏まえて専門家に制作を依頼していく段取りになります。</p> <p>専門家の件ですが、どなたか候補の心当たりとなる方がいれば、この場で教えていただきたいです。</p> <p>（提案なし）</p> <p>特にいらっしゃらないようですので、後日でも結構ですので、事務局にご一報いただきたいと思います。</p> <p>制作者については次回以降も検討を続けていきたいと思っています。</p> <p>次に学園歌の制作方法です。学園歌についての意見を聞くのは、先ほど話し合ったアンケートで学園章とあわせて学園歌に対する意見も子どもたちに聞けると思います。そのような方向性でよろしいでしょうか。</p> <p>（「はい」という声あり）</p> <p>ありがとうございます。学園章と学園歌について、次回、アンケートの案文をご提示いたします。承認をいただいた内容で児童・生徒対象に行いたいと思いま</p>

	<p>す。</p> <p>それを基にイメージをまとめる作業を懇談会の委員の皆さんにお願いすることになると思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>重ねて学園歌についても、候補となる作曲家、作詞家を知ってる方がいましたら事務局にご連絡をいただきたいと思います。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>今回は5月を予定しておりますので、学園章・学園歌を制作依頼する候補の方を是非ご推薦ください。私たちは高円寺にゆかりのある方々をあまり把握しておりませんので、ご推薦がないと今まで依頼したことのある方の中から選ぶことになってしまいます。是非5月までにご一報いただければと思いますので、ご協力をお願いいたします。</p>
会長	<p>事務局の話にありましたように是非ご推薦いただきますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>では次第の3番目の議題に移ります。「3校の交流活動について」です。</p> <p>本日は、今年度の最終回になりますので、3校の交流活動について、ご報告させていただきます。</p>
委員	<p>それでは今年度の3校の交流活動について報告したいと思います。</p> <p>本年度の取組みですけれども、4月4日に早速合同研究会を持ち、算数の学力向上の取組みについて、済美教育センターの高槻先生、大宮小の榎原先生を講師に研修を行いました。20日の2回目の小中合同研究会にてメンバーの確認、組織の確認、今後の日程について検討しました。今年度は学力向上を3校共通の目標に掲げ、3校で研究授業を行いました。研究組織は昨年と大きく変わっていませんが、教育計画検討部会を整理して8つに分けてやってきました。そして交流分科会については昨年同様に進めてきました。研究推進委員会は8回、杉八小を会場として行い、合同研究会は10回行いました。そのうち3回、それぞれの学校で研究授業を行いました。</p> <p>スクリーンをご覧ください。これが4月4日の合同研修会の様子です。大宮小の榎原先生に来ていただいて、実際に大宮小でやっている算数のペア学習について、講師としてお話をいただきました。</p> <p>7月に行った杉四小の研究授業は、2年生の算数の授業で行いました。授業を見た後、それぞれ3校の先生方が3つの分科会に分かれて、1つの授業について検討しているところです。その後、図書室で全体会をやりました。</p> <p>9月の杉八小での研究授業も2年生の算数だったのですが、杉四小と同じように分科会をやって、そして全体会をやりました。全体会では、分科会で討議された授業の中身の内容について附箋を使って検討して、それを全体会に返すというスタイルで研修を深めてきました。</p> <p>11月の研究授業は高円寺中で行いました。このときは小学生と中学生のアクティブラーニングということで、話し合い活動をしました。これは杉四小の児童と高円寺中の生徒が班ごとに話し合いをしている場面です。高円寺中の場合は、放送教育の全国大会と兼ねていました。その全国大会でも、アクティブラーニング</p>

等の研修ということで、講師の先生にお話をいただきました。

杉四小が毎年やっている高円寺中に杉四小の5・6年生が行って学習をする「小中一貫」ですが、今年も5月20日からスタートして、年間14回行いました。

これは、高円寺中の体育館に集まって、杉四小の5・6年生と高円寺中の生徒が挨拶をしているところです。5年生は初めて高円寺中に行ったので、副校長先生に、高円寺中の校内を案内していただきました。中学校の先生の授業も受けました。これは中学校の音楽の授業です。

5月14日、杉八小の運動会に高円寺中の生徒が参加して、一緒に阿波踊りを踊っています。

5月25日から27日まで、杉四小と杉八小は合同で富士学園の移動教室へ行きました。これはニュースレターにも載せた写真なんですけれども、杉八小、杉四小の校長は仲良しなのを、今後もアピールしていこうと、たまたま同じ赤い服を着ていたこともあり撮った写真です。

朝の会も合同で行い、食事と一緒に食べてます。閉園式も合同で行うなど、今年度は合同でやる機会が増えたかなと思います。

それから5月28日、高円寺中の運動会に、杉四小が参加しています。低中高学年でそれぞれ分かれて高円寺中に出向いていくのですが、その度に橋本校長先生が出迎えてくれて、小学生にとっても中学校の校長先生にお話をいただくといういい機会になったかなと思います。

中学年は綱引きをやりました。同じく今年もPTA競技で3校の先生方が協力して綱引きをやりました。また、5・6年生は高学年ということで、中学生とリレーをやりました。そして3校合同の職員チームで今年も走りました。

6月24日、「花いっぱい運動」ということで、杉四小と杉八小は、同じ日に一緒に花を植える活動をしました。それぞれに高円寺中の生徒が参加をしてくれました。

また、私は今年も高円寺中での「小中一貫」の日に、5・6年生と中1から中3までの各クラスに入って給食を食べてきました。小学校の校長が中学生のクラスへ行くと、クラスによって反応がさまざま、中3は非常に元気がいいのですが、中1、中2はシーンとなっていて、「いつもこんなに静かなの?」「いえ、そんなことはないです」とかという会話をしながら給食を食べてきました。

阿波踊りは、今年も杉八小はボランティアで活躍しました。杉八小の取り組みは非常に長くやっていて、商店街でインタビューをしたり、振興協会にこのような取り組みをすることについてプレゼンに行ったり、町会や清掃事務所をお願いをすること等もしています。

9月、2学期になりまして「はぴはぴフェスティバル」を高円寺中の体育館で行いました。土曜授業の日と重なったので、午前中に児童が小学校へ来たあと、午後にこの「はぴはぴ」に参加するという形で、たくさんの参加者がありました。

杉四小のアトムの会、おやじの会が、この日「すぎころ」を組んでいたのですが、「はぴはぴ」と重なったので、だったら「はぴはぴ」でやろうということに

なり、お店を出して参加をしてくれました。

9月25日の日曜日、杉四小の運動会に高円寺中が参加しました。杉八小の伊勢副校長先生も参加してくださって、これからいよいよ阿波踊りという場面です。これももう長く続けている取組みになっています。

10月7日、地域清掃。これも杉四小・杉八小と、それぞれに中学生が参加して、地域清掃を行いました。

10月14日、部活動体験。高円寺中で小学生がさまざまな部活動の体験をしました。子どもたちに「中学校で何やった？」とアンケートをとるのですけれども、小学生にとっては強烈な印象なのか、この部活動の体験が結構筆頭に出てきます。

10月25日、放置自転車のクリーンキャンペーンです。これも中学生と小学生が協力して、一緒に取り組んでいます。

10月22日、高円寺中での学習発表会「わくわくフェスティバル」。杉四小の5年生と杉八小の6年生が発表しました。毎年、杉四小・杉八小の作品展示をやっています。また、今年は全員合唱という、中学生と小学生と一緒に歌を合唱するという取組みを初めて行いました。

12月9日、杉四小の学校評議員の方が高円寺中を訪問ということで、高円寺中で小学生が授業を受けているところを見ていただきました。6年の理科の授業で、中学校の先生に授業をしてもらっているところです。

12月5日「歳末助け合い運動」ということで、高円寺駅街頭で、小学生、中学生が一緒になってやりました。

12月23日「高円寺ゆめ音楽祭」。杉八小の琴クラブ、杉四小の天鼓隊、杉四小のブラスバンド、高円寺中の吹奏楽部、杉八小の音楽教室が参加しました。小学生にとっては、中学生のブラスバンド、吹奏楽を聞くいい機会になっているかなと思います。

3学期になりまして、2月1日「高円寺カルタ」。杉八小も杉四小も高円寺カルタという取組みをしているので、せっかくだから何か交流をとということになりました。1月の杉四小の学校公開のときに保護者に見ていただくために高円寺カルタを貼り出しました。そのタイミングで、杉八小の3年生が杉四小に来てくれて、杉四小の3年生に対して感想を言ったり、杉八小で行っていることを発表してくれました。今年初めて3年生同士の交流が実現しました。

それから杉四小・杉八小の4年生の合同報告会です。昨年度から始めたのですが、両校ともキャリア教育、企業家教育をやっているので、お互いにやっていることを報告し合うことになりました。杉八小の体育館で、お互いに売った商品を交換しているところです。去年は単に報告発表だけだったのですが、今年は発表するだけでなく、交流もしました。これは、杉四小・杉八小の4年生が入り乱れてゲームをしているところです。

2月14日、模擬選挙。これも昨年からはじめたのですが、杉四小・杉八小の5・6年生が合同で選挙を体験する実習です。去年は杉四小の体育館で行ったので、

今年、杉八小の体育館で行いました。杉並区の選挙管理委員会が来てくださって、いろいろご指導いただきました。

地域の行事で、育成会が主催している「ウルトララリー」というものがあるのですが、ここにも高円寺中の生徒が手伝いに来てくれます。低学年のグループに中学生が入っていろいろ手伝ってくれます。高円寺中の会場もポイント地点になり、ここは、育成会の中で言うと杉四小と馬橋小のエリアなので、杉四小と馬橋小の児童たちも、このポイントを通過していきました。

3月10日、杉四小の卒業を祝う会で、高円寺中の橋本校長先生に来ていただいて、お話いただきました。

今年、杉八小のほうは阿波踊りの5年間にわたるもの、それから杉四小は、杉四小カンパニー、キャリア教育で5年間にわたるということで、両方とも継続した取組みが評価されて、文部科学大臣賞をいただきました。

3月16日「杉四小の校長が杉八小でも授業を」と書いてあるのですが、小小連携を深めるというところの一環で、ぜひ杉八小でも授業をさせてほしいと。僕は杉四小でも授業をやっており、その授業を杉八小の6年生にもしてきました。「いのちの授業」ということで、道徳の授業をやらせていただいて、杉八小の6年生ともいろいろと交流ができたかなと思います。

先週、3月17日に高円寺中の卒業式があり、34名が卒業していきました。ここにも杉四小・杉八小の校長が参加して、3校で卒業生を送りました。

ニュースレター10号を配付していますが、小中一貫教育について発信できたことは今年度の成果だと思います。そして合同研究会で学力向上という目標に向けてかなり実践することができました。それから3校間でのすり合わせも随分進んだかなと思います。昨年度に増して、杉四小・杉八小の小小連携もより深めることができたと思います。

本当に3校とも、地域や保護者の皆様のご支援ご協力で、今年も充実した教育活動ができたと思います。感謝申し上げます。

これからの課題ですけれども、昨年と同じです。子どもたちにとって、「よりよい学校」をつくることが私たちの使命です。工事期間でも教育内容や教育水準が下がらないように進めていくことが今後の課題です。

高円寺中の体育の授業を杉四小の校庭で行いました。写真の後ろのほうを見ていただくと、子供園の園児が写っているのですが、このように小学生と子供園の園児と中学生が一緒の場所にいるという場面が、おそらく来年度の杉四小の校庭ではたくさん見られるのではと思っています。

29年度は昨年に引き続き「学力向上プロジェクト」、それから「インクルーシブプロジェクト」ということで進めてまいります。特に学力向上については、今年ペア学習とか、算数・数学にある程度特化してやっていくことが、先生方の中でも少しずつ定着してきたので、さらに進めていきたいと思っています。

子どもたちにとって、より良い学校をつくるということは、私たち、現場の教員からすると、教育過程や教育の内容や、教育の方法をしっかりと作っていくと

	<p>ということだと思っています。</p> <p>来年度はさらにこの3校で連携を進めて、合同で取組みを進めていきたいと思っています。</p> <p>今後も高円寺地域の子どもたちの未来のために頑張ります。以上です。</p>
会長	<p>今のご説明で、何かご質問等はございますでしょうか。</p> <p>次年度の研修会はプランが全部できあがっており、新しい学校の教育計画を具体的につくる時期が参りましたので、それを中心に進めていきたいなと思っています。何かございましたら、それぞれの校長に言っていただき、それをしっかり反映していきたいと思っています。</p> <p>他に何かご意見はございますでしょうか。</p>
委員	<p>高円寺中のPTAから要望でひとつよろしいでしょうか。</p> <p>高円寺中PTAでは、家庭・地域・学校が連携し、よりよい教育環境の新しい学校が開校することを期待しております。新しい学校では、知的発達遅れや、意思疎通に軽度の困難がある児童・生徒を対象に、一人ひとりの課題に応じた教科学習自立活動を行う9年間一貫したつながりのある、教育効果が見込まれる知的障害特別支援学級が設置されます。</p> <p>新しい学校の教育方針案には、全ての子どもの人権を尊重し、誰もがその人らしく生きることのできる社会づくりを目指していきますと、指導の重点が掲げられています。</p> <p>平成29年度には新しい学校に統合する杉四小・杉八小に特別支援教室が設置され、新しい学校が開校する平成31年度には、中学校にも特別支援教室が設置されることになり、まさに小中一貫した9年間のつながりのある、特別支援教育の充実が図られ、杉並区が一層の推進を図るインクルーシブ教育を理念とした学びの場になるものと期待しております。</p> <p>平成31年度に新しい学校に設置される特別支援学級を開校とともに充実した教育環境をつくるには、開校までの間に十分な準備が必要であります。しかしながら現在の杉四小・杉八小・高円寺中には特別支援学級が設置されておられません。また、近隣小学校に設置されている知的障害特別支援学級から、平成29年度に卒業する児童を現在の高円寺中では受け入れられません。</p> <p>新しい学校における小中一貫した特別支援教育の充実とインクルーシブ教育の推進を行うには、平成30年度に現在の高円寺中に1年前倒しで知的障害特別支援学級の設置が有効ではないかと考えております。</p> <p>この間、高円寺中PTAとして、この懇談会に参加し考えておりました。また学校とも協議し、高円寺中PTAの運営委員会の決定により、知的障害特別支援学級の平成30年度への設置を要望いたします。</p> <p>高円寺の地域が共に支え合い、共につくる新しい学校の開校に向けて、何とぞご検討いただくようお願い申し上げます。</p> <p>以上です。ありがとうございます。</p>

委員	<p>前回の私からの意見なのですが、杉並区のインクルーシブ教育の一層の推進という計画が謳われている中、新校の教育目標に沿ったものをしっかりと準備していただきたいというのが大きな要望の1つです。</p> <p>地域の核となる学校ですから、インクルーシブ教育自体は、子どもたちだけでなく、地域、そして区民全体に浸透していくことが望ましいかと思っておりますので、やはり核となる学校での準備は必要かと思っております。</p> <p>それから事前配付されましたこの杉並和泉学園の検証結果ですけれども、6ページの教育調査結果の中で、特支の中学部の肯定率は、区全体の平均よりも学園のほうが低いのです。特別支援教育の充実という教育環境改善の取組みは必要ではないかなと思っております。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。先ほどの3校の取組み発表にもインクルーシブ教育がありましたので、この辺りのところも新しい学校のプランを作っていく中で、重点的に取り組んでいくべき中身かなと思っております。</p> <p>では事務局より、議題4の「その他」をお願いします。</p>
学校支援課長	<p>学校支援課長の朝比奈でございます。私から、今、お話の出ました杉並和泉学園の検証についてご報告いたします。</p> <p>参考資料という形で事前に配付させていただいたものですが、平成27年4月に開校いたしました、杉並和泉学園の27年度1年間の運営等に関しまして、私どもで検証を行った結果をまとめたものでございます。</p> <p>2ページに検証の目的や方法について、まとめております。</p> <p>目的としましては、杉並和泉学園の今後の運営に生かすことに加えまして、今後の施設一体型小中一貫教育校づくりを初めとする、杉並区の小中一貫教育のさらなる推進を図る上での参考にすることとしております。</p> <p>検証の方法等につきましては、以下記載のとおりでして、検証の視点として5つ掲げてございます。この視点ごとに、27年度を取組みを踏まえた教育調査結果等を引用しながら検証いたしました。また、その過程において、学識経験者等の意見を聴取しております。</p> <p>22ページにまとめを記載しておりますが、1年目としてはおおむね順調に運営され、学園全体の活性化が図られていると捉えております。</p> <p>ただ一方で、単年度の、あるいは開校1年目の検証結果であったことなどから、今後も一定の期間をかけまして、定期的、継続的に、より多面的な検証を図っていくことが必要だと感じているところです。28年度の運営に対する検証は、来年度のもう少し早い時期に行っていく考えです。</p> <p>この資料が、今後の高円寺学園の検討の一助になればと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。今後の参考にしていきたいと思っております。では引き続き事務局の方、お願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>事務連絡、本日は5点です。</p> <p>1点目は、本日参考資料として席上配付してあります「バス停の移設」というのがございます。こちらについて簡単にご説明させていただきます。</p>

	<p>仮称ですけれども高円寺学園新西正門予定地前、環七沿いにある空き地の前に都営バスの新宿西口方面に向かう「高円寺駅入口」という停留所がございます。</p> <p>利用者にはご迷惑をおかけしますが、新西正門は建築工事に伴う工事車両の出入口と、新校の緊急車両等の出入り口となるため、停留所を移設することになりました。この場をお借りしまして、懇談会委員の皆さまにご周知させていただきます。</p> <p>資料にも記載がありますが、移設日は4月中旬を予定しております。図が変わる可能性があります、移設先はJRの高架南側にある防衛省公務員宿舎跡地の前付近、右側の高円寺南歩道橋をおりた、南側の辺りになる予定です。</p> <p>懇談会委員の皆さまのほか、町会連合会にもお話しいたしましたが、詳しい日程等が決まりましたら、区公式ホームページや町会の回覧板などで広く周知を図ろうと思っております。</p> <p>バス停に関しては以上でございます。</p> <p>2点目、新しい学校づくりニュースの最新号ができましたので配付しております。内容としては、新校名と小中学校名の決定と通学路案についてです。通学路については、さまざま安全対策を図っていくところを掲載しております。</p> <p>また新しい学校づくりニュースについては学園章の検討などの進捗次第で、その都度、発行できればと思っております。</p> <p>あと3点目、4点目については、議事録と次回の日程です。議事録は作成が終わり次第お送りしますので、ご確認の程よろしくお願いいたします。</p> <p>次回の懇談会ですが、5月を予定しております。新年度となり、若干保護者の委員の変更があるかも知れませんが、新年度になりましたら、早目に事務局から日程調整させていただきたいと思っております。できる限り出席者が多く見込まれる日に開催させていただきますが、やむを得ず都合の悪い日と重なってしまった場合は、ご理解の程よろしくお願いいたします。</p> <p>最後、5点目です。閉会后にPTAの方と来年度の体制について相談したい件がありますので、PTAの方は着席のまま少々お待ちください。</p>
会長	<p>ありがとうございました。事務局に何かご質問はございますか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>次回の懇談会は5月予定ですので、次の年度になります。年度が変わりましたら事務局から日程調整の連絡がありますので、よろしくお願いいたします。会場についても、日程とあわせて事務局から連絡さしあげます。</p> <p>今年度の懇談会は本日が最終回になります。委員の皆さまありがとうございました。</p> <p>以上で第22回懇談会を閉会いたします。</p>